

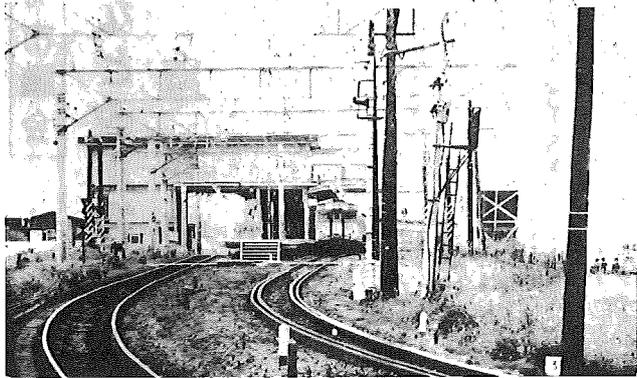
常磐線復々線計画

▽天王台駅△

快速電車廃止に反対表明

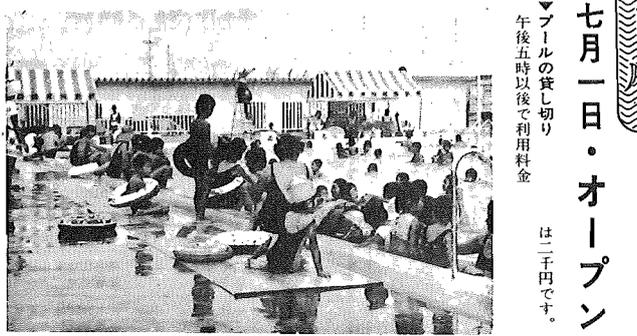
本年二月初め、国鉄東京第一工事局から常磐線復々線工事を行なうと、市に正式に伝えられました。工率計画のあらましは、現在我孫子駅止りとなつて約七キロメートル延長しようとするものです。すでに確保されている我孫子-天王台駅間を除く、天王台-取手駅間の延長二キロメートルについて、現在の線路用地を約三メートル

に要望を伝えると共に協議を進めております。そのあらましは次のとおりです。新設線の開業後は在来線が快速線となる計画であるが、天王台駅への停車については在来線は勿論、新設線についても停車をさせること。復々線化によって支障の生じる踏切については立体交差と側道をもって解消を図る。これは柴崎、下ヶ戸踏切分は都市計画道路二・三・五号線の道路橋の整備であり、相野谷踏切については都市計画道路二・



常磐線復々線工事が予定されている天王台駅付近

七月一日九時から市民プールを一般に公開します。幼児用プールも現プールの隣にまもなく完成しますのでご利用ください。利用料、利用時間は次のとおりです。
▽料金 大人四十円、小人(中学生まで)二十円
回数券は六枚一組で大人二百円、小人百円
▽時間 午前九時から午前十一時、午前十二時から午後二時、午後三時から午後五時(繰入替制のため、この時間以外は入場できません)
▽利用上の注意 小学生以下のお子様は保護者と一様に水中メガネの使用は禁止です。



元気なチビっ子たちでにぎわう市民プール

市長・議会共催の権利者との話し合いを行なう

我孫子駅前土地区画整理事業

市は、住みよい合理的な街づくりを目指す。我孫子駅前土地区画整理事業を推進しておりますが、去る六月五日に我孫子中央公民館において、権利者との話し合いを行なうことができました。会場には、権利者一三八名と県議会議員渡辺多門氏をはじめ、市議会議員の二名、千葉県から山崎都市部長のほか三名、市長、市議会議員の司会のもと、活発な質疑応答がありました。



やらなければならぬこと、すぐでできるものは直ちに処理します。市民サービス課

自動車の保管場所確保等に関する法律施行令の一部が改正いたしました。今まで車を購入される時に保管場所の申請をする必要がなかったのですが、昭和四十八年六月一日から保管場所を証明する申請(用紙は陸運局や警察署にある)が必要となります。申請されれば、警察署では確かに車が保管できるかどうかを確認して許可いたします。これからは自分の庭に車を置く場所を確保するなり、車庫を借りるなりしなければ車を購入できないこととなります。車の所有者が住所を変更されたら、名義を変更され

青空駐車をなくそう

た場合も保管場所の申請が必要となります。しかし、昭和四十八年五月三十一日以前に車を購入されている方は車庫証明書の提出は必要ありません。この目的は道路に車を置かないこと、すなわち青空駐車をなくすことにあり、道路をより広く使い、車の流れをスムーズにすることです。千葉県で擁護されるものは、我孫子市を初め市制施行されている所と印旛郡印旛村、本郷村の二村です。なお、駐停車禁止以外の道路でも昼間でしたら十二時間、夜間でしたら八時間以上は駐車できません。



都市に生活する者には公園は憩いの場だ。テレビで見ても、外国では大都会のなかには、街の騒音からかけはなれた静かそのものの公園があり、こどもも大人も小鳥や野生動物たちとごく自然にあそんでいるのをうらやましいと思う。どういふわけか日本人は公園を大切にしない。庭の盆栽や草花は大事に育てても、公園の樹木は平気で折るし、野山にかけるとまきマイカーにシヤベルやスコップを積んで行く。野鳥たちまでも自分のものはどにか思っているようにだ。このころ緑や自然を守る運動が、日本ばかりでなく世界中に広がっており、私たちの街にも森や公園の緑を守る定めができたが、まだまだ私たちは自然のありがたさを知らないこと、かつて北の鎌倉とも言われ美しい水をたたえた手賀沼に、いまは、穴あき病などという奇病がでている。この目的は道路に車を置かないこと、すなわち青空駐車をなくすことにあり、道路をより広く使い、車の流れをスムーズにすることです。自然の緑の美しさはいつとすると、私は祖先が森の中に生活していた史実に接れを感じる。

